

## シンジケート・ローンはなぜ拡大しているか

一橋大学大学院 山城健

シンジケート・ローンは米国においては中南米の累積債務問題発生後の 90 年代初めから拡大し、わが国においては不良債権問題発生後の 90 年代半ばから拡大している。

1 つの融資先へ多額の融資を行うことを避けて融資先を増やすことにより、シンジケート・ローンは銀行のリスク分散及びソフトバジェット問題を緩和する機能を持つものと考えられる。さらに、アレンジャーの持つ融資先の情報をシンジケートへの参加者間で共有することで情報をより効率的に利用できる。

一方リレーションシップ・バンキングでは銀行のモニタリングによって企業の倒産確率を低め、また企業の状況の変化に柔軟に対応できるものと考えられる。

本稿ではこれらの機能に注目してシンジケート・ローンとリレーションシップ・バンキングを比較し、シンジケート・ローンが拡大してきた理由を分析する。